

<評価>◎：計画を上回るペースで推移 ○：計画通りに推移 △：計画未達又は停滞

項目	「評価値」又は「イベント」								評価	
	初期値		目標（中間目標含む）				実績			
	数値	時点	数値	時点	数値	時点	数値	時点		
「新たな目標」への対応 重点テーマ1	リフォーム実施戸数の住宅ストック戸数に対する割合（持ち家）	5.9%	H30	6.5%	R5	7.5%	R12	6.4%	R5	○
	高齢者の居住する住宅のバリアフリー化率※ ※ 2か所以上の手すり設置又は屋内の段差解消	40%	H30	45%	R5	50%	R12	43.4%	R5	○
	「住宅対策総合支援センター」等の県が設置する住宅相談窓口での相談件数（年間）	355件/年	H30～R2平均	500件/年	R7～			516件/年	R6	◎
	「建築BIM」を使用する設計事務所の割合（県の指名競争入札選定対象業者に占める割合）	31%	R3.10	60%	R7	80%	R12	47.4%	R7	△
「カーボンニュートラル」への貢献 重点テーマ2	既存住宅の流通シェア※（持ち家） ※ 既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合	24%	H30	27%	R5	32%	R12	29.6%	R5	◎
	空き家判定士による利活用可能な空き家の判定件数（計画期間中の2次調査累計）	133件	H28～R2	150件（30件/年）	R3～R7	300件	R3～R12	114件（28.5件/年）	R3～R6	○
	観光・交流等のまちづくりの拠点として空き家等を活用する市町村数（計画期間中の累計）	7市町村	R3(予定)	16市町村	R3～R7	24市町村	R3～R12	11市町村	R3～R6	△
	省エネルギー対策※がされている住宅の割合 ※ 全部又は一部の窓に二重サッシ又は複層ガラスを使用	20%	H30	23%	R5	34%	R12	23.3%	R5	○
	木造化・木質化に取り組む市町村数（計画期間中の具体的取組（公共事業・民間支援）の累計）	4市町村	R3当初	16市町村	R3～R7	24市町村	R3～R12	13市町村	R3～R6	○
安心して暮らせる住生活の実現 重点テーマ3	地震対策※がされていない住宅の解消 ※ 少なくとも「減災化（寝室や居間等にある家具を対象とした固定や配置の工夫などの取組）」がされていること	(参考)耐震化率82%	H30	おおむね解消	R6			解消には至らず(86%)	R6	△
	老朽危険空き家等の解消件数（計画期間中の補助等件数累計）	1,358件	H28～R2	1,500件（300件/年）	R3～R7	3,000件	R3～R12	1,220件（305件/年）	R3～R6	○
	「徳島県公営住宅等長寿命化計画」の見直し	現行計画策定	H30	計画見直し	R5			計画見直し	R6	○
	特に配慮が必要な高齢者世帯数※1に対する生活支援サービス付き住宅※2の数の割合 ※1 令和12年時点で、介護の必要性や世帯状況等から自立した生活を送ることが困難と見込まれる世帯数 ※2 有料老人ホーム、軽費老人ホーム、シルバーハウジング、サービス付き高齢者向け住宅等	81%	R2	88%	R7	95%	R12	88.9%	R6	◎
	災害時の住まいの確保に係る業務マニュアル（市町村向けモデルを含む）の整備	借上型応急仮設住宅業務マニュアルの整備						R3	整備	R3
	応急修理業務マニュアル(市町村モデル)の整備						R4	整備	R4	○
	相談窓口業務マニュアル(市町村モデル)の整備						R6	整備予定	R7	△